

平成30年1月25日

都内私立中学高等学校  
校 長  
国 語 科 教 諭 殿  
関 係 教 職 員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会  
会 長 近藤 彰郎  
東京私学教育研究所長 須藤 勉  
文系教科研究会委員長 畑澤 正一  
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

### 文系教科研究会（国語）「授業実践報告会」のご案内

文系教科研究会（国語）では、指導上の創意・工夫や授業への応用、実践活動の報告等をしていただき、ご参加の先生とともに学ぶ「授業実践報告会」を下記により開催いたします。  
校務ご多忙の折とは存じますが、お誘い合わせのうえ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

#### 記

1. 日 時 平成30年3月15日（木）17：30～20：00（予定）  
※受付開始17：00より
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室  
千代田区九段北4-2-25 ※裏面案内図参照
3. 報告者・教材名等

報告者（学校名）	報告題目 <報告内容・教材名など>
小宮 賢 先生 (成立学園中学・高等学校)	<b>iPadを使って楽しい古文♪</b> ～「次の授業が待ち遠しい」～ ロイロノート（ソフト）を使った授業実践についてのご報告。「今までの古文は難しいし、わかりにくかったけど、このお話しは分かればわかるほど面白いと思う。」「次の授業が楽しみです。」（生徒のふりかえり）
大津 貴寛 先生 (光塩女子学院中・高等科)	<b>偶然が生む奇跡に出会う</b> ～『伊勢物語』芥川の現代語訳から発展した気づき～ 対話的学びはときにおもいがけない学びを生みだします。『伊勢物語』『芥川』の例を中心に、『源氏物語』『若紫』からセンター試験対策まで、各学年での対話的学びの例を生徒たちの反応を通して考えます。
益川 敦 先生 (頌栄女子学院中学校・高等学校)	<b>現代語訳をゴールにしない古典の授業</b> ～『増鏡』での実践を例にして～ 「薄く濃き野辺の緑の若草に跡まで見ゆる雪のむら消え」——『増鏡』で絶讃されている宮内卿の和歌のどこが優れていたのかをみんなで考えました。「みんなでワイワイ、たくさん和歌を読んだら、苦手意識が消えました。」——和歌が苦手、と言う生徒の力になることもできました。

4. 定員 80名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切らせていただきます)
5. 参加費 無料 (会員各校の拠出金と (公財) 東京都私学財団からの補助金で運営しております)
6. 申込方法 3月2日 (金) までに下記宛 WEB または FAX にてお申込みください。

URL <http://k.tokyoshigaku.com>

東京私学教育研究所

検索

東京私学教育研究所 文系教科研究会 (国語)

担当：岡沢、溝口

Tel : 03(3263)0544

Fax : 03(3263)0560

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線  
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線  
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線 (各駅停車) 市ヶ谷駅  
上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

文系教科研究会 (国語) 「授業実践報告会」参加申込書 【 3月15日 (木) 実施 】

学 校 名	氏 名 (ふりがな)

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成30年 月 日

校 長 ㊟

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)  
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------